

## 第 75 回中国四国学生陸上競技対校選手権大会

### 新型コロナウイルス感染予防対策/リスク軽減に向けた競技会の運営ガイドライン (4/20)

#### I. 開催の前提条件

##### 1. 緊急事態宣言の解除

- (1) 政府または高知県による移動制限が解除されていること。
  - (2) 政府または高知県による不要不急の外出自粛が解除されていること。
  - (3) 高知市内の店舗営業自粛が解除されていること。
2. 高知県、高知市からイベントの開催が認められていること。
3. 高知市において、新型コロナウイルス感染症に関する診療体制が整っており、会場で発熱者出た場合、直に診察を受け入れることのできる体制が整っていること。

#### II. 基本事項

##### 1. 3密の回避

3密とは、下記のような状態を指す。

- (1) 密閉空間（換気の悪い空間）
- (2) 密集場所（多くの人々が、狭い空間に居合わせること）
- (3) 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離において、会話等が行われること）

##### 2. 感染症対策

下記の事項を推進・徹底する。

- (1) こまめに手洗いをを行う。
- (2) マスクを着用し、咳をする際には、咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにする。
- (3) 多くの人々が頻繁に触れる箇所を清掃・消毒する。
- (4) 大会に関わる全ての人（競技者、大学関係者、大会/競技役員、報道関係者等）の体調を把握する。
- (5) 宿泊施設や公共交通機関等の移動、特に夜の夕食時等の外出においても3密の回避等、上記感染予防を行う。

(6) 新型コロナウイルス接触確認アプリ等を活用する。

### III. 競技者、大会関係者および観客に対する配慮事項

#### 1. 感染防止対策の基本

##### (1) 3密の回避

定期的に感染予防対策班による見回りを行う。

##### ① 密閉空間に対する対策

- ・ 陸上競技場諸室における窓のある部屋では、窓を複数箇所開けるとともに、扇風機を回す。
- ・ 更衣室のシャワールームを使用禁止とする。

##### ② 密集場所に対する対策

- ・ 招集所において、競技者と密に対応する役員は、マスクおよび手袋を装着するとともに、可能な限り選手との接触を避け、声掛けのみで誘導する。
- ・ スタート待機場所：同上
- ・ フィールド競技：同上

##### ③ 密接場面に対する対策

- ・ 陸上競技場諸室では、不必要な会話や大声での会話は控えるよう周知する。
- ・ 招集所：同上
- ・ フィールド競技：同上

##### (2) 競技者およびチームスタッフに対する対策

① 競技者に対し、競技会2週間前からの体調管理および検温を義務付け、指定の体調管理チェック表に記入し提出させる。

② 各大学の代表者が、所属大学の競技者および関係者の健康状態を確認し、押印された健康チェックシートを受付で提出させる。

※ 大会当日、健康チェックシートを提出しない大学に対しては、競技場入場を認めず、出場も不可とする。

※ 感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加者より提出された書面を大会終了後3か月間保管する。

※ 保管期間を過ぎた当該書面は、適正かつ速やかに廃棄する。

- ③ 体調が定かでない競技者がいた場合は、その場で検温を実施し、大会本部の医師の指示状況によっては参加を許可しない。

※ 体調が不確かな競技者の例：「一見して体調が悪そうに見える」、「顔がほてっている」、「咳、鼻水の症状（風邪の症状）が見られる」等。

- ④ 以下の事項を競技者およびチームスタッフに周知する。

- ・ 競技中を除きマスクの着用を義務とする。
- ・ 手洗い、手指の消毒および洗顔を必ず行う。
- ・ ウォーミングアップは個別に行う。
- ・ 競技用具使用後は、手洗いおよび手指の消毒を必ず行う。
- ・ 運動中につばや痰を吐く行為は、極力行わない。

- ⑤ ごみ箱は設置せず、競技関係のごみのみ回収する。

### (3) 学連役員、競技役員および補助員に対する対策

- ① 文書・メール等を活用し、対面での事前打ち合わせの回数を減らす。
- ② 新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧、透析を受けている者、免疫抑制剤や抗がん剤等）を持っている者には、競技役員委嘱の連絡の際に辞退するよう促す。
- ③ 競技者との接触を減らす。
- ④ 用器具、通信機器、審判用具、計測機器、情報端末、その他共用物の使用後は手洗い、手指の消毒および洗顔を必ず行う。
- ⑤ 室内清掃・消毒の準備を整える。
- ⑥ 医務室の広さを十分に確保したうえで、医師か看護師のいずれかを医務室に常駐させる。また、感染が発生した場合に備え、競技場内に隔離部屋を設ける。
- ⑦ 個人防護服を準備する（フェイスシールド、ゴーグル、手袋、マスク、白衣等）
- ⑧ 競技役員と競技者の動線をできる限り分ける。

### (4) 観客（応援者（学生）、大学関係者、OB、OG、選手の親族等含む）に対する対策

- ① 本大会は、観客の入場制限は行わない。

※ ただし、県外への移動が制限されている地域からの来場を除く。

- ② 観客席では、人と人との間隔を前後左右で十分にとるよう周知する。

- ③ 声を出しての応援（計測を含む）は禁止とする。
- ④ 接触確認アプリ（COCOA）のインストールを推奨する。

※ ①から③に違反している団体または個人に対しては、退場の措置をとる場合がある。

## 2. 競技運営および競技種目ごとの配慮事項

### (1) 競技運営における配慮事項

- ① 競技者のスタート待機時間および招集時間を分割し、密集を防ぐ競技日程を設定する。
- ② 種目・組ごとに招集時刻を設定し、招集所では、競技者同士の距離を十分に確保するとともに、手続きを可能な限り簡略化する。
- ③ 競技者紹介を簡略化する。
- ④ 競技中あるいはフィニッシュ後に倒れ込んだ競技者のケアは、マスク・ビニール手袋を着用して実施する。
- ⑤ レース後、手洗いへ直行する動線を確保し、手洗い・洗顔を徹底するように促す。
- ⑥ 記録の発表には、Webを活用する。
- ⑦ 開会式・閉会式・表彰式を簡素化し、表彰式では、報道関係者が表彰会場に集まり密集状態にならないよう配慮する。
- ⑧ 会場アナウンスで、「新型コロナウイルス感染拡大防止への協力」を積極的にアナウンスする。

### (2) トラック種目における配慮事項

- ① 2～3組ずつスタート地点に誘導し、待機場所にゆとりを持たせる。
- ② 全てのレーンに選手を配置するが、スタート位置やフィニッシュ後に、その場に長時間留まることの無いよう指示する。
- ③ 熱中症に留意しつつ、招集中、移動中および待機中はマスクを着用させる。
- ④ 中長距離レースのスタートについては、可能な限り2段階で実施する。
- ⑤ 給水の競技役員および補助員には、競技開始前後に手指を消毒し、マスクおよび手袋を着用するよう指示する。
- ⑥ 給水所に、スポンジは置かない。

### (3) フィールド種目における配慮事項

- ① 待機場所では、ソーシャルディスタンスを確保するよう注意を促す。
- ② 投てき器具の共用は認める。競技前後で全ての指の消毒をすること、競技中に不用意に手で顔に触らないこと、および競技後、手洗いと洗顔をすることを周知する。
- ③ 滑り止め（炭酸マグネシウム）は、共有しない方法で実施する。「競技役員や補助員から適量を受け取る」、「小分けして競技者に渡す」、あるいは「競技者が自身で持ち込む」等の方策をとる。
- ④ 助走練習および投てき練習時に並ぶ時は、ソーシャルディスタンスを確保するか、あるいは競技役員が1人ずつ呼び出すかの方法をとる。
- ⑤ 待機中は、競技者同士の会話は極力避け、マスクを着用するよう指示する。
- ⑥ 競技役員・補助役員の手旗、情報機器、計測器等の共用は極力避ける。共用する場合には、使用後、手洗い、手指の消毒および機器の消毒を行う。
- ⑦ コーチがコーチングエリアから競技者に向かって話す際は、マスク着用のうえ、ソーシャルディスタンスを確保して話すよう周知する。

### 3. 施設における配慮事項

#### (1) 施設入場時の配慮事項

- ① 競技役員および競技者受付所等、対面して受付を行う場所に、シールド（透明なシート等）を設置、またはフェイスシールドを準備する。
- ② 受付やゲートにおいて、体調が定かでない者には検温を実施する。
- ③ 入退場口に、消毒液を置く。
- ④ 整列する場所を示すマークを設置する。

#### (2) 施設利用上の配慮事項

- ① 常時、換気がなされるようにする（窓開け・戸開けの実施）。  
※ 換気できない場所は利用しない
- ② 諸室・招集所等においては、間隔をあけて座席を配置する。
- ③ 拡声器・通信機器を多用する。
- ④ 多くの者が接触する可能性がある箇所を頻繁に清掃（消毒）する。  
※ 施設所有者・管理者に確認すること。
- ⑤ 雨天時の待避場所を確保し、終了後、施設、設備、用器具等の清掃・消毒を行う。
- ⑥ トイレ（便座、ドアノブ、水洗トイレのレバー等）を清潔に保つ。

- ⑦ トイレでは、便座の蓋をしてから水を流すよう周知する。
- ⑧ 喫煙所は設置しない。
- ⑨ ゴミ箱を設置せず、ゴミは各自持ち帰るように事前に周知し、かつアナウンスをする。

※ 競技関係諸室におけるごみは、回収担当者が対応する。担当者時は、マスクおよび手袋を着用して作業を行い、作業後は、手洗いおよび手指の消毒をする。

- ⑩ 発熱者が出た場合に備え、隔離用の部屋を確保する。適切な部屋が確保できない場合は、飛沫感染防止可能なカーテン、パーテーションで仕切ったコーナーを用意する。

### (3) ウォーミングアップ会場の配慮事項

- ① 補助競技場でのテントの設置は禁止とする。
- ② トレーナーステーションは設置しない。

## 4. メディア・取材への対応

- (1) 報道各社からの取材に対しては、中国四国学生陸上競技連盟（以下、中四国学連）が対応する。
- (2) 会場（取材エリア、ミックスゾーン、撮影エリア、プレスルーム等）の規模により取材人数を設定し、事前に報道関係各社と取り決めを行う。
- (3) 報道受付では、取材申請者から体調管理チェック表を受け取り、本人確認後入場を許可する。
- (4) 報道取材者に対しては、「取材時はマスクを着用すること」、「開催2週間前の体調の確認すること」、「当日、検温を行うこと」、「会場内では、手洗いや咳エチケット等の実施を心がけること」および「取材人数、取材方法および取材エリアを遵守すること」を依頼する。

## 5. 競技会終了後の対応事項

### (1) 施設所有者・管理者への確認事項

- ① 競技終了後、主管校と中四国学連で使用した全ての箇所（机、いす、ドアノブ、パソコン、トイレ等）を消毒する。
- ② 競技終了後、用器具係で使用した全ての競技用機材（スターティングブロック・投てき物・バトン等）を消毒する。

### (2) 参加者への周知事項と対応事項

- ① 競技会終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状を発症した場合、あるいは新型コロナウイルス感染症と診断された場合は、必ず最寄りの居住地自治体の衛生部局および中四国学連に報告することを、参加者に周知する。

※ 連絡先：中国四国学生陸上競技連盟 (電話番号:090-4695-2914 E-mail:icalcs26@gmail.com)

## 6. その他

- (1) 参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合、あるいは地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、高知県衛生部局並びに高知市と予め検討しておく。
- (2) 感染症のまん延を防止し、感染症による健康リスクが個人や社会に与える影響を最小限にするために、感染症の発生状況等に関する情報を積極的に公表する必要がある。なお、当該情報の公表に当たっては、感染者等に対して不当な差別及び偏見が生じないように、個人情報の保護に留意する。